

平成23年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月8日

上場会社名 IMV株式会社 上場取引所 大
 コード番号 7760 URL http://www.imv.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)岡本 二郎
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員経営企画本部長 (氏名)桂井 徹 (TEL)06(6478)2565
 四半期報告書提出予定日 平成23年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年9月期第3四半期の連結業績(平成22年10月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年9月期第3四半期	3,354	31.4	260	109.9	243	105.7	117	59.8
22年9月期第3四半期	2,552	△24.1	124	—	118	—	73	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年9月期第3四半期	7.20	—
22年9月期第3四半期	4.50	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年9月期第3四半期	6,723	2,339	34.8	143.15
22年9月期	7,078	2,249	31.8	137.62

(参考) 自己資本 23年9月期第3四半期 2,339百万円 22年9月期 2,249百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年9月期	—	0.00	—	2.00	2.00
23年9月期	—	0.00	—	—	—
23年9月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年9月期の連結業績予想(平成22年10月1日～平成23年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,600	8.9	325	△22.1	300	△26.1	155	△56.5	9.48

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他

- (1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無
新規 — 社 ()、除外 — 社 ()

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 無

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

- (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

23年9月期3Q	16,957,016株	22年9月期	16,957,016株
23年9月期3Q	611,953株	22年9月期	611,953株
23年9月期3Q	16,345,063株	22年9月期3Q	16,345,410株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載した予想数値その他の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	4
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	4
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	5
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	5
2. その他の情報	6
(1) 重要な子会社の異動の概要	6
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	6
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	6
3. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書	9
【第3四半期連結累計期間】	9
【第3四半期連結会計期間】	10
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 継続企業の前提に関する注記	13
(5) セグメント情報	13
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	13
4. 補足情報	14
生産、受注及び販売の状況	14

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の我が国の経済状況は、緩やかな回復基調にあった景気が、平成23年3月11日に発生した東日本大震災の甚大な被害により、企業の設備投資が抑制され、また個人消費も冷え込んだ結果悪化しました。

このような環境の中、当社グループは、前連結会計年度までの緊縮政策から反転して成長のための諸施策を積極化させており、中国やASEAN地域への人員派遣や、成長分野であるリチウムイオン電池向け検査装置の開発強化等を実施いたしました。また、海外の各提携先との協力体制を強化させ提携製品の相互拡販に注力すると共に、既存製品の分野においても無線型ポータブル振動計をリリースする等新たな展開を推進いたしました。業績面につきましては、震災の影響はあったものの、主要取引先である自動車関連業界を中心に受注は回復基調にあり、全ての品目において前年同四半期を上回る受注高、売上高となりました。

以上の結果、当社グループの売上高は3,354百万円となり、前年同四半期と比べ801百万円の増収(対前年同四半期比31.4%増)となりました。利益面では、収益性の高いテストラボの第3四半期連結累計期間の売上高が過去最高であった影響等から、前連結会計年度に縮小していた人材、設備、研究開発といった事業投資を再開させながらも、経常利益が243百万円となり、前年同四半期と比べ125百万円の増益(対前年同四半期比105.7%増)となりました。また、会計基準の変更に伴い資産除去債務を計上した影響等に加え、四半期純利益は117百万円となり前年同四半期と比べ44百万円の増益(対前年同四半期比59.8%増)となりました。

品目別の営業の概況は次のとおりであります。

(振動シミュレーションシステム)

振動シミュレーションシステムの分野におきましては、市場の拡大が期待される中国や東南アジアへ人員を派遣し、販売支援やマーケティングの強化を行いました。業績面では、震災の影響はあったものの、主要取引先である自動車関連業界(リチウムイオン電池関連も含む)を中心に受注が回復し、前連結会計年度にリリースした「エコシユーカー」(省エネ型振動シミュレーションシステム)も好調であり、振動だけではなく温湿度といった他の環境因子と同時に試験が可能なオールウェザーシミュレーションシステムの売上も増加いたしました。

以上の結果、この品目の売上高は1,974百万円となり前年同四半期と比べ530百万円の増収(対前年同四半期比36.8%増)となりました。

(メジャリングシステム)

メジャリングシステムの分野におきましては、震災により停機していた火力発電所の復旧に向け、振動監視計等を優先対応してまいりました。また前連結会計年度に業務提携契約を締結したGEエナジー製品の拡販も順調に進みました。加えて、従来のポータブル振動計「カードバイプロNeo」を進化させ、業界初となる無線型ポータブル振動計「カードバイプロAir」の販売も開始いたしました。業績面では、電力業界からの振動観測装置の受注が増加したことにより、前年同四半期を上回る結果となりました。

以上の結果、この品目の売上高は780百万円となり前年同四半期と比べ172百万円の増収(対前年同四半期比28.4%増)となりました。

(テスト&ソリューションサービス)

テスト&ソリューションサービスの分野におきましては、大阪テストラボでは、大型の試験装置を中心に受託試験が増加し、同じく鉄道車両用機器向けの試験装置も堅調でした。また、東京テストラボや名古屋テストラボにおいても電気自動車関連の試験受託が増加したことにより、前年同四半期を上回ると同時に、第3四半期連結累計期間における過去最高の売上高という結果となりました。

以上の結果、この品目の売上高は599百万円となり前年同四半期と比べ98百万円の増収(対前年同四半期比19.6%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産は前連結会計年度末と比べ355百万円減少し、6,723百万円となりました。流動資産では、前連結会計年度末と比べ54百万円減少し、3,808百万円となりました。この主な要因は、仕掛品の増加214百万円及び原材料の増加52百万円があったものの、現金及び預金の減少223百万円及び受取手形及び売掛金の減少145百万円があったことによるものであります。固定資産では、前連結会計年度末と比べ301百万円減少し、2,914百万円となりました。この主な要因は旧名古屋営業所及び東京営業所の売却等による有形固定資産の減少290百万円があったことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は前連結会計年度末と比べ445百万円減少し、4,383百万円となりました。流動負債では、前連結会計年度末と比べ377百万円減少し、3,149百万円となりました。この主な要因は支払手形及び買掛金の増加109百万円及び未払法人税等の増加39百万円があったものの、短期借入金の減少391百万円、1年内返済予定の長期借入金の減少73百万円及び1年内償還予定の社債の減少50百万円があったことによるものであります。固定負債では、前連結会計年度末と比べ68百万円減少し、1,233百万円となりました。この主な要因は繰延税金負債の増加22百万円及び資産除去債務の増加30百万円があったものの、長期借入金の減少110百万円があったことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は前連結会計年度末と比べ90百万円増加し、2,339百万円となりました。この主な要因は利益剰余金の増加84百万円によるものであります。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末と比べ3.0ポイント増加し34.8%となり、1株当たり純資産は前連結会計年度末の137円62銭に対し、143円15銭となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間の業績は、予想を上回る利益となりましたが、研究開発活動の更なる強化や、設備、人材への投資等を予定しており、費用は増加する見込みであり、平成22年11月12日に公表いたしました平成22年9月期決算短信に記載の業績予想から変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

(会計処理基準に関する事項の変更)

(資産除去債務に関する会計基準の適用)

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益1,030千円、経常利益1,136千円及び税金等調整前四半期純利益13,506千円が、それぞれ減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は29,843千円であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	954,407	1,177,435
受取手形及び売掛金	1,656,222	1,802,081
有価証券	4,604	—
製品	38,217	16,857
仕掛品	733,159	519,075
原材料	261,245	209,118
繰延税金資産	122,267	99,330
その他	39,549	40,372
貸倒引当金	△1,100	△1,200
流動資産合計	3,808,573	3,863,070
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	995,751	1,054,590
土地	1,526,802	1,710,046
その他(純額)	152,688	200,642
有形固定資産合計	2,675,241	2,965,279
無形固定資産	35,091	50,542
投資その他の資産	204,249	199,812
固定資産合計	2,914,582	3,215,635
資産合計	6,723,155	7,078,706
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	951,290	841,843
短期借入金	1,162,866	1,554,300
1年内返済予定の長期借入金	595,072	668,384
1年内償還予定の社債	—	50,000
未払金	87,997	114,893
未払費用	210,800	174,797
未払法人税等	64,864	25,090
製品保証引当金	53,000	47,000
その他	23,759	50,949
流動負債合計	3,149,650	3,527,258
固定負債		
長期借入金	918,317	1,028,617
繰延税金負債	30,550	8,352
長期未払金	240,162	250,645
資産除去債務	30,219	—
その他	14,500	14,500
固定負債合計	1,233,748	1,302,114
負債合計	4,383,398	4,829,373

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	464,817	464,817
資本剰余金	557,563	557,563
利益剰余金	1,423,408	1,338,450
自己株式	△109,327	△109,327
株主資本合計	2,336,460	2,251,503
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,295	△2,170
評価・換算差額等合計	3,295	△2,170
純資産合計	2,339,756	2,249,332
負債純資産合計	6,723,155	7,078,706

(2) 四半期連結損益計算書
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年6月30日)
売上高	2,552,776	3,354,280
売上原価	1,717,744	2,238,540
売上総利益	835,031	1,115,740
販売費及び一般管理費	710,807	855,033
営業利益	124,224	260,706
営業外収益		
受取利息	1,543	1,157
受取配当金	501	639
受取賃貸料	925	925
有価証券売却益	746	—
有価証券評価益	239	236
セミナー収入	7,936	5,783
助成金収入	14,778	3,277
雑収入	11,855	8,516
営業外収益合計	38,528	20,535
営業外費用		
支払利息	31,543	22,605
賃貸収入原価	558	477
雑損失	12,377	14,840
営業外費用合計	44,480	37,923
経常利益	118,272	243,319
特別利益		
貸倒引当金戻入額	223	100
固定資産売却益	—	222
保険解約返戻金	5,206	—
特別利益合計	5,430	322
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	12,370
投資有価証券評価損	3,061	5,173
固定資産売却損	—	4,630
固定資産除却損	55	151
減損損失	17,294	—
早期割増退職金	25,966	—
前期損益修正損	—	2,631
特別損失合計	46,377	24,958
税金等調整前四半期純利益	77,324	218,683
法人税、住民税及び事業税	4,453	75,074
過年度法人税等	163	27,432
法人税等調整額	△921	△1,471
法人税等合計	3,694	101,035
四半期純利益	73,629	117,647

【第3四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	618,768	875,397
売上原価	416,487	595,016
売上総利益	202,280	280,381
販売費及び一般管理費	226,241	297,126
営業損失(△)	△23,961	△16,745
営業外収益		
受取利息	364	200
受取配当金	295	360
有価証券売却益	746	—
受取賃貸料	308	308
セミナー収入	3,057	2,291
助成金収入	2,767	583
雑収入	5,188	3,190
営業外収益合計	12,728	6,934
営業外費用		
支払利息	9,573	6,118
有価証券評価損	1,771	507
賃貸収入原価	186	159
雑損失	5,080	6,699
営業外費用合計	16,612	13,483
経常損失(△)	△27,845	△23,295
特別利益		
貸倒引当金戻入額	100	300
特別利益合計	100	300
特別損失		
固定資産除却損	0	—
投資有価証券評価損	65	—
特別損失合計	65	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△27,810	△22,995
法人税、住民税及び事業税	545	6,431
過年度法人税等	163	27,432
法人税等調整額	△220	△40,724
法人税等合計	488	△6,859
四半期純損失(△)	△28,298	△16,135

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	77,324	218,683
減価償却費	187,725	151,498
のれん償却額	1,817	2,725
減損損失	17,294	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△414	△100
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△4,000	6,000
受取利息及び受取配当金	△2,045	△1,796
受取賃貸料	△925	△925
支払利息	31,543	22,605
為替差損益 (△は益)	△31	71
固定資産売却損益 (△は益)	—	4,408
固定資産除却損	55	151
有価証券売却損益 (△は益)	△746	—
有価証券評価損益 (△は益)	△239	△236
投資有価証券評価損益 (△は益)	3,061	5,173
前期損益修正損益 (△は益)	—	2,631
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	12,370
売上債権の増減額 (△は増加)	294,432	145,859
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△130,035	△287,570
仕入債務の増減額 (△は減少)	80,394	100,131
保険戻戻金	△5,206	—
その他	6,015	△33,250
小計	556,019	348,431
利息及び配当金の受取額	1,739	1,575
利息の支払額	△31,564	△21,733
法人税等の支払額	△2,734	△59,614
法人税等の還付額	71,673	562
営業活動によるキャッシュ・フロー	595,132	269,221
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の売却による収入	20,910	—
投資有価証券の取得による支出	△1,129	△1,152
有形固定資産の取得による支出	△21,288	△13,374
有形固定資産の売却による収入	—	189,707
無形固定資産の取得による支出	△775	△1,438
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△3,588	—
保険積立金の解約による収入	12,330	—
定期預金の預入による支出	△6,178	△106,082
定期預金の払戻による収入	100,000	—
その他	△2,752	△7,282
投資活動によるキャッシュ・フロー	97,528	60,376

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△301,552	△391,434
長期借入れによる収入	300,000	950,000
長期借入金の返済による支出	△445,472	△1,133,612
社債の償還による支出	△50,000	△50,000
自己株式の取得による支出	△155	—
配当金の支払額	△16,378	△32,578
その他	△1,012	△1,012
財務活動によるキャッシュ・フロー	△514,570	△658,637
現金及び現金同等物に係る換算差額	31	△71
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	178,122	△329,110
現金及び現金同等物の期首残高	645,178	1,100,093
現金及び現金同等物の四半期末残高	823,300	770,982

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成21年10月1日 至平成22年6月30日)

当社及び連結子会社の事業は振動に関するシミュレーションシステム及びメジャリングシステムの製造・販売を事業内容とする単一事業区分であるため、事業の種類別セグメント情報は作成しておりません。

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成21年10月1日 至平成22年6月30日)

本邦以外の国または地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間(自平成21年10月1日 至平成22年6月30日)

	アジア	ヨーロッパ	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	399,911	53,180	11,072	464,164
II 連結売上高(千円)	—	—	—	2,552,776
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	15.7	2.1	0.4	18.2

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本国以外の区分に属する主な国又は地域

(1)アジア : 韓国、中国、台湾

(2)ヨーロッパ : ロシア

(3)その他の地域 : アメリカ

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

【セグメント情報】

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号平成20年3月21日)を適用しております。

当社及び連結子会社の事業は振動に関するシミュレーションシステム及びメジャリングシステムの製造・販売を事業内容とする単一事業区分であるため、セグメント情報は記載しておりません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(生産実績)

品目	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年6月30日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年6月30日)		対前期比(%)
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	
振動シミュレーションシステム	1,366,102	54.6	1,996,420	58.9	146.1
メジャリングシステム	612,355	24.5	781,475	23.1	127.6
テスト&ソリューションサービス	524,101	20.9	611,012	18.0	116.6
計	2,502,559	100.0	3,388,908	100.0	135.4

(受注高実績)

品目	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年6月30日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年6月30日)		対前期比(%)
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	
振動シミュレーションシステム	2,275,240	64.9	2,743,913	64.0	120.6
メジャリングシステム	688,362	19.7	896,866	20.9	130.3
テスト&ソリューションサービス	540,839	15.4	644,835	15.1	119.2
計	3,504,442	100.0	4,285,615	100.0	122.3

(受注残実績)

品目	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年6月30日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年6月30日)		対前期比(%)
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	
振動シミュレーションシステム	1,297,588	85.0	1,436,870	78.4	110.7
メジャリングシステム	168,329	11.0	326,141	17.8	193.8
テスト&ソリューションサービス	61,594	4.0	70,122	3.8	113.8
計	1,527,512	100.0	1,833,134	100.0	120.0

(販売実績)

品目	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年6月30日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年6月30日)		対前期比(%)
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	
振動シミュレーションシステム	1,443,975	56.6	1,974,964	58.9	136.8
メジャリングシステム	607,654	23.8	780,150	23.2	128.4
テスト&ソリューションサービス	501,147	19.6	599,165	17.9	119.6
計	2,552,776	100.0	3,354,280	100.0	131.4